

# 平成24年度 Q I の設定と改善のための活動報告

⑦

部署名	精神神経科リエゾンチーム	代表者	甲斐利弘
-----	--------------	-----	------

## 1. 設定した指標

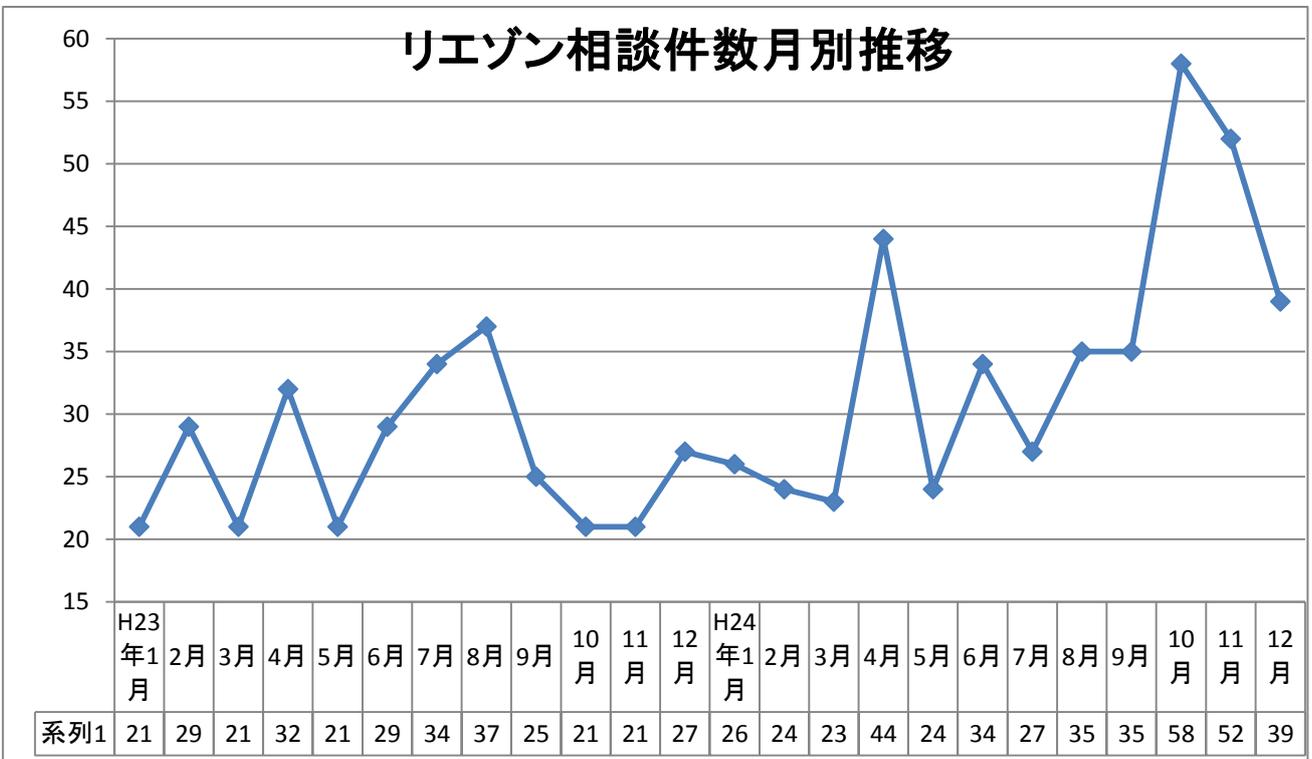
①リエゾン相談件数 ②身体合併症での入院数 ③時間外入院数
-------------------------------------

## 2. 指標の説明

①リエゾン相談件数：他科入院患者の精神的問題にどれだけ対応できたかを示す。 ②身体合併症での入院数：他施設の精神神経科に入院中の患者さんが、身体的な合併症を発症し、当院がそれを受け入れた（転院してこられた）件数を示す。 ③時間外入院数：緊急措置入院を含めた夜間休日の精神科救急入院の対応数を示す。
--

## 3. これまでの指標データ

①リエゾン相談件数：平成24年1月～平成24年12月まで421件（平成23年1月～平成23年12月まで318件）
②身体合併症での入院数：平成24年9月～平成24年12月までは28件
③時間外入院数：平成24年9月～平成24年12月までは19件



○ 分母・分子、除外データ、データ抽出元など

抽出元：精神神経科データベース PSW（精神保健福祉士）作成

#### 4. 評価及び指標改善に向けて行った活動など

- ・リエゾン件数はその活動が浸透すれば年々件数が増してくることが考えられる。実際、平成23年と平成24年で比較しても年間100件あまり増加した。
- ・合併症での入院数は体制が整ったばかりなので、スタッフが対応に慣れ、ベッドコントロールもうまくやっていけば、今後増えてくると考えられる。
- ・時間外入院については緊急措置入院に対応する大阪府下の病院が増えたこともあり、当院への入院数は減ってきている。代わりに精神科救急での入院に限定的ではあるが対応することになったので、その部分の上積みは見込まれる。